

平成28年度 甲南学園 事業計画書

＜基本方針＞

国内外の政治・経済・社会環境が著しく不安定な中、教育分野にあっては、多くの試みが矢継ぎ早に文部科学省から打ちだされ、新しい教育像が模索されている。こうしたなか、甲南学園は長年培ってきた建学の精神を基に、強靱 (tough & flexible) に、状況変化に挑戦、適応し、教育・学術におけるクオリティ・リーダーとなることを目指している。

本学園はこれまで教育力の甲南・研究力の甲南の実現を目指し、KONAN プレミア・プロジェクト、戦略プロジェクトの遂行も含め、年々の経常予算についての適切なバランスと財務体質の強化とを相い関連させつつ、予算編成にあたって、財政健全化のためのガイドラインを設定してきた。これらの成果を踏まえつつ、以下の新しい要因を加味し、学園100周年へむけて一層の飛躍の年とする。

- (1) 創立100周年記念事業を本格始動させる。甲南新世紀KONAN Higher Quality 教育の実現へむけ注力するとともに、あわせて教育施設の充実に取り組む。
- (2) 創立100周年記念事業の重要な一環として、100周年記念事業募金活動に一段と拍車をかける。
- (3) 甲南新世紀教育の展開実現のため、平成28年度入学生から学費改定を行う。大学にあっては、4年をかけて新学費体系の完成に至ることを見据え、初年度としての適切な予算対応をとる。

これらの点を踏まえ、以下のとおり、予算を編成し、学園、大学、高等学校・中学における事業を計画する。

1. 財政健全化のためのガイドライン

- (1) 事業活動収入に占める事業活動支出の割合は、99.6%とする。
- (2) KONAN プレミア・プロジェクトは、1億5,000万円程度を目標とし、実施に際しては引当特定資産を活用する。
- (3) 法科大学院・先端生命工学研究所にかかる事業（いわゆる戦略プロジェクト）は、事業活動収入の5.2%以下とし、実施に際しては引当特定資産を活用する。
- (4) 資産運用収入（受取利息・配当金収入）は、理事長及び学長並びに校長より提案を受けた「21世紀に輝く学園」、すなわち、「優秀な学生への支援」、「学園の戦略広報・スポーツ強化支援」及び「国際的に卓越した研究推進」等に重点配分する。
- (5) 事業活動収入にしめる経常的な事業活動支出の割合は93.2%以下とする。
- (6) 100周年記念事業にかかる収支は、具体案を踏まえて予算額に計上する。
- (7) 人件費及び委託業務費はその金額及び必要性・実効性を精査・再考し、一層の低減に努める。

2. 基本金

- (1) 基本金組入額は、100周年記念事業に係る投資分を除いて教育・研究充実のための施設・設備への投資及び図書購入等、事業活動収入の6.4%とする。
- (2) 100周年記念事業は、16億2,000万円を計上し、事業活動収入の11.8%とする。
- (3) 奨学助成基金に5,000万円を積み立てる。

＜平成28年度の主な取組＞

I. 甲南学園創立100周年記念事業の企画及び推進

学園創立100周年（平成31年、2019年）を記念し、Respectable KONAN of the World（“世界で通用する甲南”）を掲げ、以下の記念事業を企画し推進する。

■甲南新世紀 KONAN Higher Quality 教育を目指して

圧倒的少人数 甲南 active-interactive 教育の実施、個性を力へ創生(成)する(individualization) 共通教育改革の推進、融合型グローバル教育の推進、高等学校・中学校“世界に通用する紳士たれ” グローバル ハイレベル教育の実現

■甲南学園創立100周年記念事業募金（目標額20億円）

■KONAN INFINITY COMMONS 建設

■甲南大学白川台キャンパス セミナー・スポーツ施設拡充（愛称「コスモススペース」）事業

■甲南高等学校・中学校100周年記念 教育環境整備事業

■100周年記念“わがくるま 星につなぐ” 甲南の星奨学金給付制度

■学園創立100周年記念出版・展示企画

学園100年史編集・刊行、平生鈞三郎日記翻刻完成（全18巻）、Respectable KONAN of the World と題し、輝かしき学園史を飾る資料の展示

■その他 学園創立100周年記念式典・記念行事等

II. 甲南大学の展開

1. 教学新機軸の構築に向けた取組み

国際都市神戸の地にあるミディアムサイズ（学部学生 収容定員約8,000人）の総合大学（人文科学系・社会科学系・自然科学系をもつ）であるという本学の長を最大限に活用し、人物教育率先の見地から学修活動・学生生活・キャリア創生・グローバル教育の質の一段の向上を図る。具体的な施策として、次の事業に取り組む。

(1) “顔がわかる” 少人数教育の推進

ミディアムサイズの総合大学、そして、ちょうどいいサイズのキャンパス（そこにいるだけで異なる学部の学生同士がつどい、刺激し合い、融合する学びのフィールド）という特徴を生かし、他大学では真似のできない甲南独自の「人物教育」、「質の高い教育」を実現する。そのために、“顔がわかる” 少人数教育体制（講義1クラス学生数<150名）の整備に取り組むとともに、学生の学修状況や成果を把握・可視化する一環として、学修ポートフォリオ、学生証のIC化と連動した自動出席管理システム等を2016年度入学生から順次適用していく。

(2) アクティブラーニング（能動的学習）の推進

昨年設置した教育学習支援センターにおいて、考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどを中心としたアクティブラーニングを推進する新しい授業形態の拡充、開発を行う。ラーニングコモンズの拡充・整備をはかるとともに、中規模アクティブラーニング教室やゼミ室を活用したPBL

(Project-Based Learning) モデル授業の開発、グループワークにおけるファシリテーションやライティングサポートなど、学習支援に関わる学生アシスタントの育成(Teaching is Learning、TIL制度の整備)を積極的に行い、KONAN アクティブラーニングの特色化をはかる。

(3) 共通教育改革の推進

現代において求められている教養教育に合致するように、全学共通教育の改革を進めていく。

具体的には、1年次、全学部融合による「共通基礎演習」を設置する他、「キャリア創生共通科目」には、ビジネス系、IT系、国際系、地域連携・ボランティア系などを設置し、どの学部に入學しても「個性あるキャリア創生力」を磨き、大学と社会の接続を図る教育を提供する。

(4) 融合型グローバル教育推進

どの学部に入學しても「融合型グローバル教育」を受けることができる体制づくりを推進する。昨年9月に2号館1階に設置したグローバルゾーン（Porte）において、国際交流センター及び国際言語文化センターが提供する各種イベントや外国語教育と連動したプログラム、留学生と共に地域に貢献するService Learningのプログラムなどを実施する。同時に、このゾーンを異文化理解の場、グローバルな発想を培う場、学生の自律的な学習を促進する場として活用する。また留学支援体制の強化を通して、学生の4人に1人が留学体験することを目指す。

(5) 地域連携・ボランティア教育の推進

本年4月に12号館1階に設置する新たな地域連携センターにおいて①学生に対する地域連携教育を展開する。具体的には共通教育科目「ボランティア論」、東灘区社会福祉協議会と共催の「ボランティア講座」の開講など、②大学による地域連携を展開する。地方自治体や新聞社などとの連携協定の締結を目指し、これらを通じて大学教育の新たな展開を可能にする。

(6) Active-interactive キャンパスの整備、魅力化

学生の自治活動・文化会活動等と教育をつなぐ「場」のもつ無限の可能性を求めて、岡本キャンパス学生会館エリアに「KONAN INFINITY COMMONS」が建設される（2017年9月竣工予定）。ここでは、学生同士、学生と教職員が交流できるAgora（多目的スペース）をイメージし、その活用方法等について引き続き検討する。また、キャンパス内のゾーン化、バリアフリー化を進め、BYOD（Bring Your Own Device）に対応したネットワーク・ファシリティを整備するとともに、本年4月に設置される白川台キャンパスにおいてセミナーハウス、体育施設の拡充を行う。

2. 教育改革アクションプランの展開

教学新機軸を具現化する行動計画（中期計画）を可視化するとともに、これらを実践・発展する教育改革アクションプランを推進する。

(1) プレミア・プロジェクト

各学部・センター等の特色ある取組み・計画を、実践・可視化するとともに、これらを組織横断的に融合し、本学教育の新たな魅力を創出することを目的として、前年度より取組みを開始したプレミア・プロジェクトを継続・発展し、以下9つのプロジェクトからなるプレミア・プロジェクト2ndを実施する。

- ① KONAN 神戸連携プロジェクト
- ② KONAN スーパー人材育成プロジェクト
- ③ KONAN グローバル・バリアフリープロジェクト
- ④ KONAN スポーツ元気プロジェクト
- ⑤ KONAN スチューデント・サポート プロジェクト
- ⑥ KONAN スマート・ラーニングプロジェクト
- ⑦ KONAN つながるプロジェクト
- ⑧ KONAN “なりたい自分”キャリアデザイン支援プロジェクト
- ⑨ KONAN Research & Education プロジェクト

(2) KONAN サーティフィケート制度の確立

成績評価に現れない学生の力を可視化することにより、学生が自信をもって行動することを奨励し、個性を力にできることの自覚を促し、その結果として、学生に対する社会評価を高めることにつながるため、学生の個性を評価する甲南独自の制度「KONAN サーティフィケート」の制度化を推進する。昨年度設置した「KONAN グローバル・サーティフィケート」、「KONAN ライブラリー・サーティフィケート」のほか、今年度は「KONAN ボランティア・サーティフィケート」、「KONAN スポーツ・サーティフィケート」制度の確立を目指す。

(3) 高大接続及び大学の情報発信力の強化

「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」（平成 26 年 12 月 22 日中教審答申）を踏まえ、本学における高大接続の確立に向けた入試制度改革や推進体制整備に取り組む。また、教学新機軸や教育改革アクションプラン等、大学の各種取組みの状況を積極的に情報発信する体制をとり、ステークホルダーや社会に対して本学の特色・魅力をアピールしていく。

Ⅲ. 戦略事業の展開

平成 16 年度より戦略事業として展開している、以下の事業を推進する。

■法科大学院の第 3 期プロジェクト 3 年目の展開

予備試験制度が定着し、ロースクールの制度環境が厳しさを増すなか、甲南ならではの「甲南ローヤー」が育つ法曹養成教育に務め、昼夜開講、春秋入学制度を敷き、広く社会人にも門戸を開き、質の高い少人数教育・学習指導体制を確立する。新たに、西宮キャンパスにおいて、後期（秋学期）より順次 ICT を導入し、岡本キャンパスからネット回線で配信する講義を受講できる「西宮教室」を開設する。

■先端生命工学研究所（FIBER）の第 2 期プロジェクト 3 年目の研究推進

「FIBER 第 II 期計画」に基づく研究、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」（平成 26 年度から 5 年間）に採択された研究を推進するとともに、引き続き、先制核酸医工学・創薬等に応用・活用してもらえる基盤研究の成果を生むことを目指す。その研究活動を促進するためにも国内外の著名研究者を招聘した国際シンポジウムを開催し、研究所の成果発表と研究交流の推進を図り、研究力の国際競争力を一層向上させる。

<事業の概要>

Ⅳ. 大学・大学院関係

1. 教育

(1) 学修支援体制の充実

学修評価の可視化に向けた、履修取消制度の再検討、シラバスの見直し、少人数教育とアクティブラーニングの推進支援、単位の実質化と充実した学びの時間の確保を目的とした学年暦の検証、定期試験の仕組み・あり方の検討、確実な補講の実施

(2) FD 活動等教育改革への取組と教育力強化の支援・促進

シラバス作成支援システムの構築、授業アンケート、教員間の授業参観、公開講義等の実施

(3) 融合型グローバル教育の推進

「留学受け入れ」、「留学送り出し」及び「学内国際交流」の充実、新規に導入した認定留学制度の周知と定着

(4) キャリア教育の推進

学部教育と連携した体系的なキャリア教育の推進、教育効果を上げるためのクラス数見直し

(5) 教員養成の理念に則した教職課程の運営と全学的な教職指導の体制構築

教育職員養成課程カリキュラム委員会の機能充実、「教職実践演習」の充実、教職基幹科目の検討と学部・学科の教職関連カリキュラム再編支援、センター教員と教職指導員等の力を結集した教科別指導体制の整備、面接対策講座と外部機関による講座・模擬試験の実施

(6) 健康・体づくりの涵養

基礎体育学演習での体力テストの回数と受験可能年次の拡充、各自で同データが利用できるシステムの構築、学生のニーズにあった実技種目の実践、日本体育協会のスポーツリーダー資格が取得可能なスポーツ健康科学系の科目新設

(7) スポーツ推薦入学者への教育支援

スポーツ推薦入学者を対象にした基礎体育学演習特別クラスの編成、スポーツ活動や学生生活を自らマネジメントする力をつけることを目的とした特別カリキュラムの実践、スポーツ推薦入学者の個性を生かすための全学的な連携強化

(8) 自己点検評価の推進、内部質保証システムの構築

平成25年度の認証評価（結果は適合）で受けた指摘事項への「改善報告書」提出準備、第3期認証評価に向けた自律的な内部質保証を継続的、安定的に行い得る組織体制の整備、教学アドバイザー・ボードの活動推進

2. 研究

(1) 学内の各種研究助成による研究支援

「平生太郎基金」、「甲南学園教育・研究基金」等の運用果実を活用した研究、出版、外国人研究者の招聘等事業への助成

(2) 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の展開

平成25年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「環境応答を司る細胞ネットワークの機能発現の分子細胞メカニズムの解明」（統合ニューロバイオロジー研究所 期間：平成25年度から5年間）の研究推進 ※FIBERの同事業は先述の通り。

(3) 研究支援の強化、コンプライアンスへの対応

- ・各種競争的研究資金の申請から管理・執行までの一元的な支援体制の強化、科研費関連説明会の開催、各種助成金情報の定期的な発信、産官学連携コーディネーターとの連携等による研究費獲得に向けた積極的な取組の推進
- ・「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に対応した体制の整備、コンプライアンス教育、研究倫理教育の推進

(4) 知的財産の活用促進、管理体制の構築

- ・本学教員の研究シーズ情報の積極的な発信と東京地区での展開、産官学連携に有益な各種展示会、「イノベーション・ジャパン ー大学見本市ー」、新技術説明会等への参画出展
- ・休眠特許の整理、休眠特許を作らない仕組み(ガイドライン)の策定

3. 学生支援活動

(1) 学生生活の支援

学生マナーアップの推進、学内奨学金制度の充実、甲南スカラシップ倶楽部の拡充、学生の健康保持・増進、学生生活の改善・充実及び課外活動の活性化に向けた支援

(2) キャリア形成・就職支援

学生一人ひとりを大事にする親身なサポートと質の高い進路支援の推進、進路満足度の向上

(3) 保護者との関係強化

「教育懇談会」の改善・充実、キャリアセンター・各学部での説明会・講演会、個別学修相談等の実施

4. 社会連携・貢献活動

(1) 地域連携・貢献活動の推進

東灘チャイルドフェスティバル(東灘区社会福祉協議会との連携)、岡本クリーン作戦(岡本商店街振興組合との連携)等の実施、神戸市東灘区役所や御影クラッセとの地域連携協定に基づく各種活動の推進、学内博物館実習施設「ギャラリー・パンセ」での展示発表、六甲アイランド総合体育施設を活用したイベント、図書館・サイバーライブラリの地域利用者拡大及び高校生への施設開放

(2) 「ひらめき☆ときめきサイエンス」、教員免許状更新講習会の開講

独立行政法人日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス」に採択されたプログラムの実施、教員免許状更新講習の開講拡充

(3) 産官学連携の推進

本学と関わりのある産業界、官公庁とのネットワーク強化、企業との連携協定に基づく各種活動の活性化

(4) 自治体連携・大学間連携の推進

神戸市公民大学連携推進室との共催による「大学都市神戸情報発進プロジェクト」の継続、「大学コンソーシアムひょうご神戸」加盟大学との相互交流の活性化、「西宮市大学交流協議会」の大学共通単位講座や市民対象講座等への講師派遣

(5) 生涯学習・スポーツ振興の支援

社会人講座、各種シンポジウム、公開講座、KONAN スポーツクラブ等の開催

5. 環境整備

(1) 安心安全、省エネ型キャンパスづくりの推進

7号館外壁等改修工事、10号館ゼミ室改修工事、太陽光発電設備設置工事(2期)、照明LED化工事の実施

(2) 情報インフラ整備の推進

無線LAN環境整備(第3期)、図書館WebサービスのICT環境適応化、各学部・センターのポータルサイトの充実

6. 学生募集・入学試験に係る活動

(1) 学生募集活動の強化

オープンキャンパスのプログラム充実、合格対策セミナーと保護者対象説明会の開催、高校教員対象説明会と高校・予備校訪問の強化、ターゲットにあわせた発信情報の充実化と情報発信力の強化、「育成型」入試の実現を目指した広報展開

(2) 入試制度改革の推進、外国人留学生（学部正規生）入学・編入学試験の実施

現役合格志向、競合大学の動向、国の高大接続改革実行プランの動向等を踏まえた一般入試、推薦入試制度の改革推進、外国人留学生（学部正規生）の受け入れに向けた入試の実施

(3) 甲南高等学校との連携・接続の推進

平成26年度に見直しを行った甲南高等学校からの推薦制度の実行に向けた各種の準備、建学理念に基づく一貫教育体制の確立を目指した取組の実施、各学部の学びを一斉に紹介し本学の教育内容の魅力をより強く訴求する「KONAN DAY」の実施

(4) 協定校・指定校との連携・接続の推進

協定校・指定校等重点校との関係強化に向けたコミュニケーションの充実と制度の整備

V. 高等学校・中学校

1. 教育一平生精神をバックボーンとする甲南一貫教育の実現

- ・科学的なものの見方や世界の動向を見極める力を養い、探究心を高める「サイエンスラボ」「グローバルラボ」をフロントランナーコースの中2生、中3生対象に実施
- ・各界の第一線で活躍されている著名人を招聘した講演会「ソフィア」の実施
- ・キャリアリサーチの一環として、OB企業訪問を高一生対象に実施
- ・社会で活躍する卒業生を招聘した「OBワークショップ」を中3生対象に実施
- ・「理科特別実験」、「特色ある科目」等、甲南大学各学部との連携強化
- ・環境学習等を介した、甲南小学校・甲南女子中高、甲南大学との連携強化

2. 学習活動・学校生活の支援—学習環境の整備、学力の向上、徳育の強化

- ・ICT教育の推進を目的とした図書館における貸出iPadの整備
- ・学習管理システム「レナンディ」を用いたe-learningの促進と家庭学習の充実
- ・ネット教材を活用した家庭学習の強化
- ・ネイティブ教員による「English Day」「English Camp」の更なる充実

3. グローバル・スタディ・プログラムの充実—国際コミュニケーション力の向上

- ・真の国際人の育成を目的とした、カナダ、ニュージーランド、イギリス、アメリカ、オーストラリアへの海外留学の実施
- ・ソーシャルビジネスのあり方、平和学習を目的としたベトナムへの短期スタディツアーの実施
- ・希望者を対象としたオーストラリア夏期語学研修、ヤングアメリカンズによる音楽を通じた教育ワークショップ「ミュージックアウトリーチ」によるグローバルファウンダーションの展開

4. 環境整備

再開発事業に係る工事の実施—ゴルフ練習場・バッティング練習場・駐車場整備
教育環境の整備—大教室AV設備更新等

5. 生徒募集・入学試験に係る活動 甲南教育の魅力を校外に伝える取組

教育情報誌等広告媒体の活用、受験生・保護者・塾を対象にした学内外での説明会の実施

VI. 法人

1. 管理運営

(1) 学園の資金計画等の策定

主要事業の収支管理と各事業の情報開示、学園創立 100 周年記念事業を見据えた資金の把握、中長期的な資金計画の策定、学園財政における学内外の要因分析、学費改定の検証

(2) 各種寄付金の受入れ強化

高等学校・中学校の生徒保護者を募集対象者とした「教育振興募金」の活性化、大学の体育会強化指定クラブを受入対象とした「スポーツ教育力強化支援寄付金制度」の周知及び定着

(3) 労務・法務、リスク管理体制の強化

マイナンバー法施行に伴う個人情報保護や情報セキュリティ強化に向けた体制整備、労務・法務管理の充実、契約審査と法務相談の体制強化、監査部による各種規程監査と監査法人・監事との連携強化

(4) 中期的な人事政策の策定、総額人件費の抑制、快適な労働環境の維持・強化

客観的かつ公正な人事評価を目的とした専任職員評価加算昇給制度の開始、組織運営の基盤づくり等による総額人件費の抑制、改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック体制の整備

(5) 学校法人会計基準改正（平成 27 年度施行）への対応

学校会計基準改正を反映した決算及び事業報告書の作成

(6) 奨学助成基金の充実

給付制奨学金充実のための第 3 号基本金組入れの継続

(7) 物品・物件調達の合理化、業務委託のコスト削減、資産管理の適正化

ボリュームディスカウントによる調達コストの更なる削減、業務委託の仕様見直し、設備備品（絵画等の資産も含む）の管理方法構築

(8) 学園情報基盤の再構築

統合認証及び統合データベースの検討、ソフトウェアライセンスの統合、情報システムの効率化、同運用管理や利用に関する取扱いやガイドライン等の制定・改正

(9) 貸与制奨学金の回収率の向上

(10) ネットワークキャンパス東京の活動強化

3 キャンパスと連携した首都圏における活動の展開、学生支援の強化、首都圏への情報発信、首都圏の各種情報収集及び分析

2. 広報活動・卒業生との連携

(1) 広報活動の充実・ブランド力の向上

「阪神間モダニズム」をモチーフに学園の原点に根差す広告活動の継続、貴志康一記念室、長谷川三郎ギャラリーの活動強化、WEB 広報ツールの充実

(2) 青少年の育成支援・地域社会への貢献を目的としたスポーツ・芸術活動への協賛

兵庫県立芸術文化センター、ヴィッセル神戸をはじめとする地域性の高い諸団体との交流を通じ、本学学生・生徒や地域社会に対する芸術・スポーツ活動の還元を実施

(3) 卒業生との連携強化

同窓会との「オール甲南の集い」共同開催、各地甲南会等との関係強化